

## 5 結果

本試験の結果、陽性対照の細胞生存率は、1.4%であり 40%以下であったこと、陰性対照における測定値は 0.928 であり 0.7 以上かつ 2.5 以下であったこと、また、細胞生存率の SD は、被験物質：5.1、7.3、陽性対照：0.1、陰性対照：2.9 でありすべて 18 未満であったことから、本試験が 4.5 に示した試験許容基準を満たしていることが確認された。

Table 2 に被験物質の細胞生存率を示した。両被験物質の細胞生存率が 50%よりも高かったことから、被験物質「フムスソリュート NWC (フムスエキス)」および「フムスソリュート NWC (フムスエキス) 20%水溶液」の皮膚刺激性は無刺激性と判定された。

Table 2 被験物質の細胞生存率

物質名	細胞生存率 (%)	SD	区分
陰性対照 (滅菌蒸留水)	100.0	2.9	-
陽性対照 (5% SLS)	1.4	0.1	刺激性
フムスソリュートNWC (フムスエキス)	104.2	5.1	無刺激性
フムスソリュートNWC (フムスエキス) 20%水溶液	95.9	7.3	無刺激性

n = 3

## 6 試験資料の保管

試験報告書は、正本を試験依頼者に提出し、副本(複写)を試験実施機関にて保管する。また、試験実施機関における保管期間は5年間とする。

## 7 参考資料

- 1) OECD : (2019) Guideline for the Testing of Chemicals, Guideline 439: *in vitro* Skin Irritation: Reconstructed Human Epidermis Test Method.
- 2) J-TEC : ヒト3次元培養表皮 LabCyte EPI-MODEL24 を用いた皮膚刺激性試験法: OECD TG439 (*in vitro* 皮膚刺激性試験) 収載.